

## 1 題材名

『知っていますか？ あなたの住む「〇〇町」の歴史』 <1年生 身近な地域の歴史>  
～町名、地名、校名などから地域の歴史をたどろう～

## 2 授業のねらい

- ① 古くからの町名が残っていれば、その由来から歴史が見えてきます。どの時代のなにからつけられた名前なのかを明らかにして、現在とのつながりを考えます。
- ② 新しい町名に変わっていれば、その時そこに住んでいた人々の街づくりへの願いや街の様子などが想像できます。いつ頃、どのような意図でつけられた町名なのかを知り、現状を分析します。
- ③ この学習では、単に町名の由来を調べるだけでなく、現在の状況と比較・関連させて考えることで自分たちが暮らす地域への関心を高めるとともに、地名も文化財であることを理解してもらいます。

## 3 学習指導要領の項目、指導計画上の位置付け

◇A：歴史との対話（2）身近な地域の歴史 イ

◇1時間扱い

◇第1章：歴史へのとびら 2節：身近な地域の歴史 の中で1コマとして扱えます。

## 4 予想される授業の流れと指導資料

- ① 自宅、学校およびその周辺で由来をたどれそうな町名をピックアップして、学級全体で由来を予想します。
- ② 何を調べれば検証できるかを考え、各自のタブレットで検索してその結果を発表します。以下出てきた内容に応じて次の段階に進めて、レポート形式でワークシートにまとめます。
  - \* 歴史的意義を含む場合 ～ その内容を詳しく調べ、現在とのつながりをさぐります。
  - \* 新しい町名と思われる場合 ～ 地名から町づくりの意図を確かめ、現状を把握します。
  - \* 自然や地形に関する場合 ～ その内容を詳しく調べ、その土地の環境を考えます。
- ③ それぞれの調査結果から、町名には「歴史的文化財」としての価値があること、大切にしたいものであること、といった内容で話し合っ結果を発表します。

<活用するおもな資料>

- ◎ウィキペディア ◎市・区のHP ◎地図サイト「今昔マップ」
- ◎『伸びゆく千葉市』～「地形図に見る千葉市の移り変わり」「郷土の歴史年表」
- ◎絵で見る・図で読む「千葉市図誌 上下」 ◎その他の古地図
- ◎「千葉市の町名：由来・変遷」1993 ◎「千葉市の町名考」
- ◎『千葉市市制施行100周年記念誌』（千葉市） など

## 5 指導上の留意点、その他

- ◇ 市内各区、各地域により実態が異なるため、学区・学校により内容の深まりに差が出る可能性があります。あらかじめ、学区内に「候補」となる町名の有無をご確認ください。
- ◇ 旧市街や街並み、名所・旧跡、古刹、伝承などが残っている地域、あるいはその反対に積極的に造成された新興住宅地（例「〇〇台」「〇〇が丘」）などが調べると興味を持って活動できると考えます。いずれにせよ、不確定要素の多いプログラムであることをご承知おきください。
- ◇ それでも、「予想をして」「調べて（検証して）」「積極的に意見を述べる」まで行えれば、生徒の“自分が居住する地名への関心”は高まるものと考えています。